

LOVING

MEGANE

GENPARO

ITYAITYA

HAPPYEND!!

GRANBLUEFANTASY unofficial FANBOOK 08



LOVING YOU!!!

Love hidden in the back of the glasses



F U K I N O T O O

ああ、どっしりこんな事に

…ルシフェル様…？

とんっ

そんな

そんな熱っぽい瞳で
見ないでほしい

リキーン

リキーン

勘違いしてしまいそうになる

!

だって

だって俺は

ちよ、待って……!

ルシフェル様……っ!?

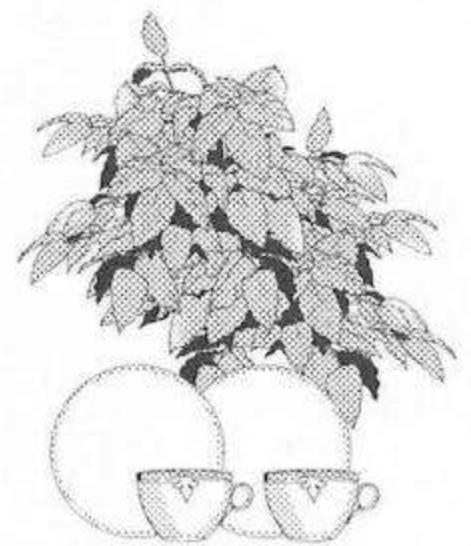
俺は

ずっと貴方のことが

する、

{LOVING}²
LOVING YOU!!

Note



ルシサン現代パロディ
大学教授×大学生
主人と世話役
両片思いから始まる少女漫画
何でも許せる方

時刻は遡り 大学研究室内

お迎えに上がりました

ルシフェル教授

お仕事の調子は
如何ですか？

ああ
サンダルフォン

まだ少し
残っていてね

カ
ヤ

あと少しだから…
ここに座って
待っていてくれないか

いつもすまない

はい
お待ちしています

大丈夫ですよ

…というか

？







それはさすがに
申し訳ないです!

!?

いいんだ
よく似合っている

うん
何なら君にあげるよ

あ、ありがとうございます
ございます

ルシフェル様の
シャツ…!



ふふ…
空色も合うね

可愛いよ

—
っ

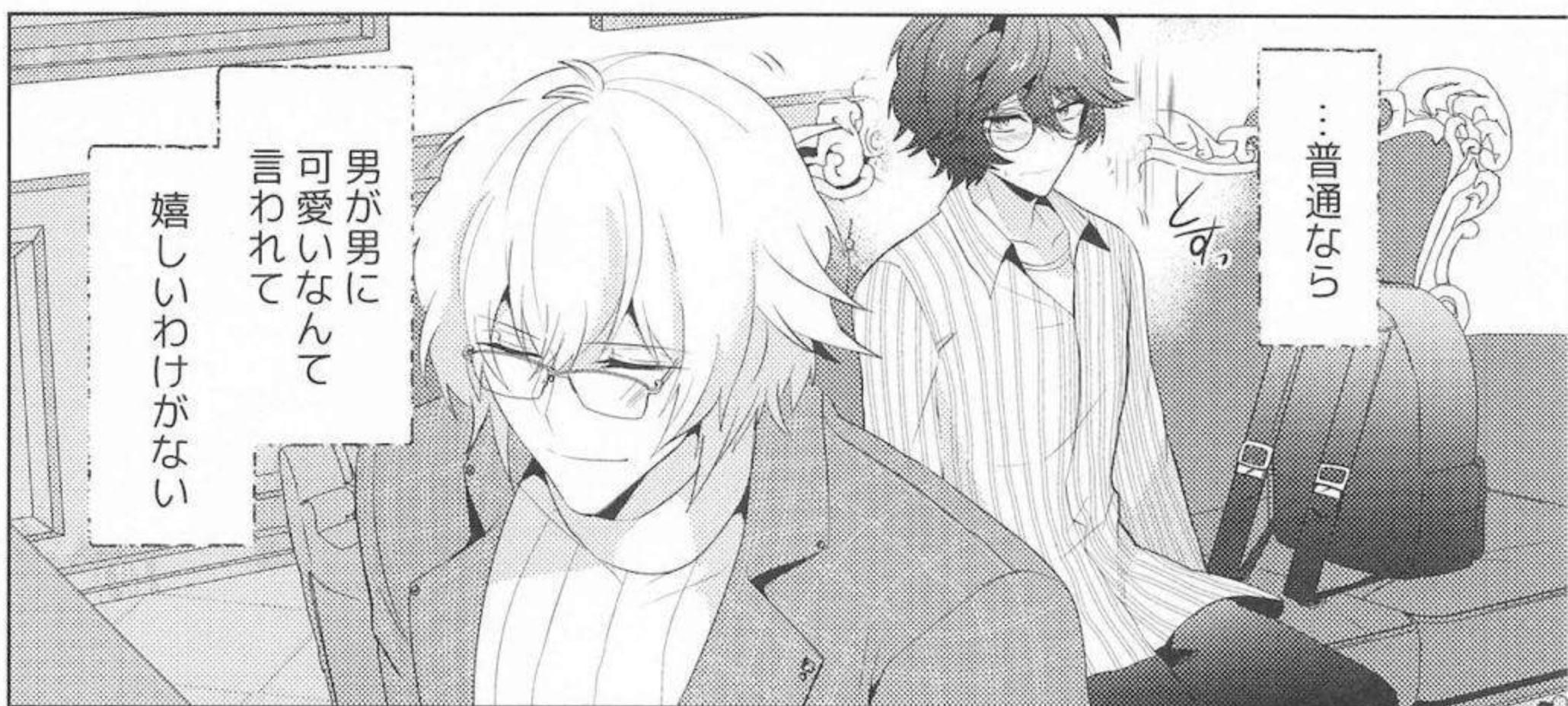
か、かわっ…て…



おや、顔が真っ赤だが…
大丈夫か?

…わっ!?

顔が!
顔が近いです
ルシフェル様!!





さて、そろそろ帰ろうか

カネ

はい
御荷物お持ちしますね

いいよ、君のも私が持つ



だ、ダメです！

これは俺の仕事
なんですからっ

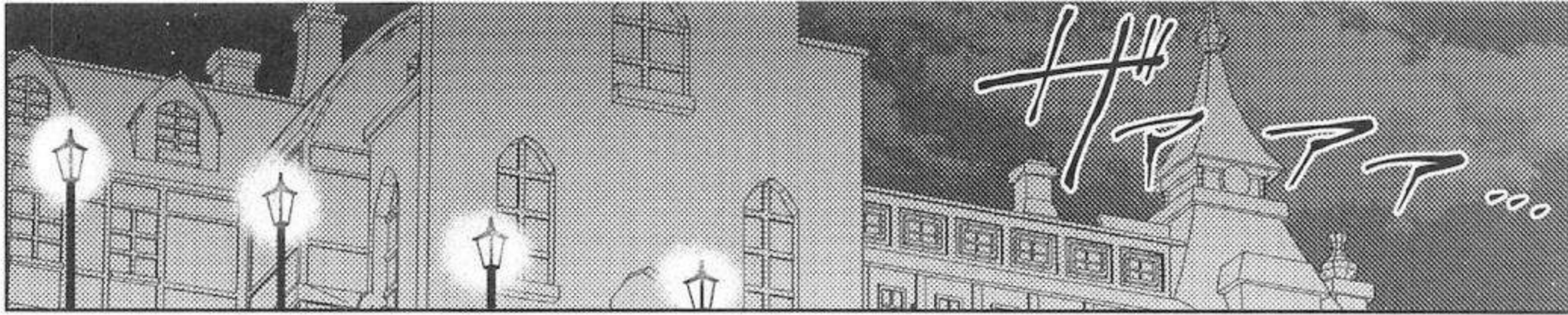
仕事取らないでくださいっ

……そうか

君の仕事を奪う訳にも
いかない……か

……この世界でも

私と君は
役割に閉じ込められて
しまうんだね



あ：もうすぐ
ルシフェル様の家だ



せめてもう少し

…あの
ルシフェル様

き、今日バイト先で
いい珈琲豆が
手に入ったんです

もう少し
一緒にいたい…
なんて我儘だろうか

なので、その…

ああ、君の珈琲が
飲みたい

ぜひ家で淹れて
くれるかい？

…っ!!

はいっ
頑張ります！

9/7

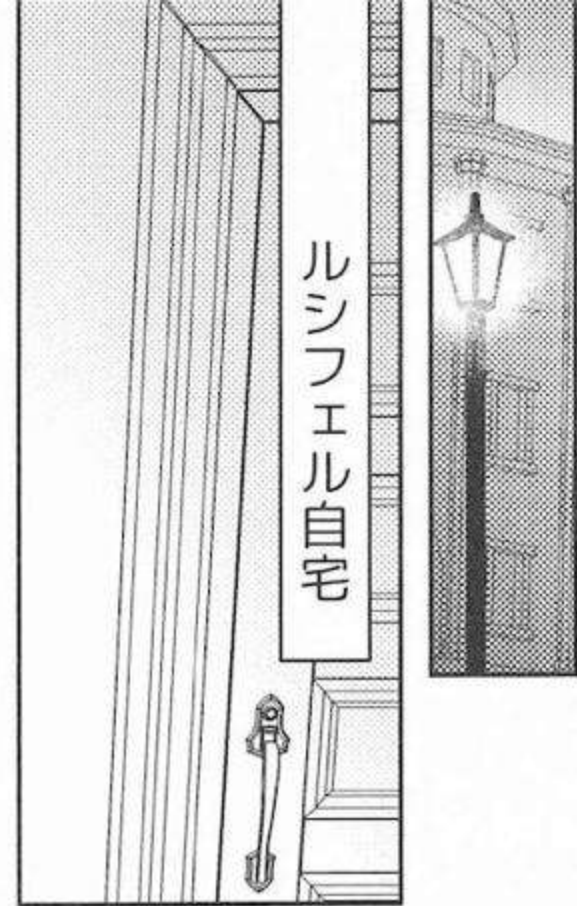


いいね

本当ですかっ

うんうん

…うん



ルシフェル自宅



ふふっ
貴方に認めて貰える様に
日々努力してますからっ

腕を上げたね
サンダルフォン



ああ

とても美味しかった



いえ
俺はまだまだ

…君は厳しいな

貴方と同じ
レベルにならないと
認めて貰えてるとは
言いません

いいえっ

?
認めてはいるんだが…

ルシフェル…様っ？



…えっ？



っ…まずい
胸の高鳴りが
抑えきれない

ああ、すまない
少しだけ…
サンダルフォン…

あ、あの…っ
お疲れで
したか…？

な、なんで俺を
抱きしめてっ…

っ……！
ルシフェル様
くすぐりたい、です



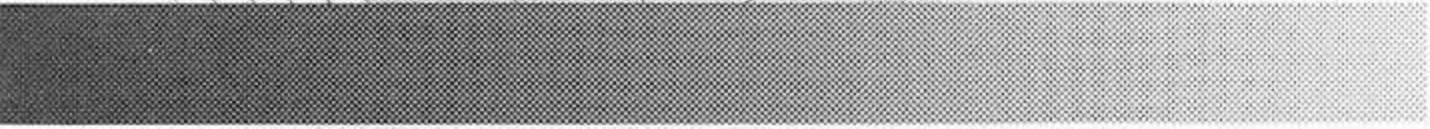


ああ…
君の香りはいいね

わっ……!

い、いいい今
首筋にキス
されっ……!!

ル、ルシフェル様…っ!?



このままだと
心臓が持たない…!!

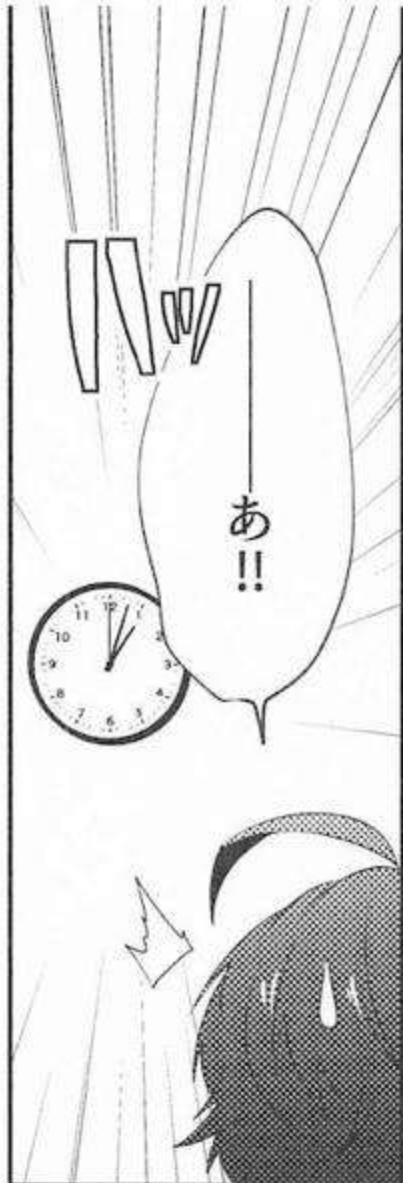
ちよっ…待って
ルシフェル様っ!

えっ

やはり君は
今も昔も
私の安寧だ…

珈琲…
いやそれ以上に落ち着く





泊まったら…
何かの拍子で
気持ちを伝えて
しまいかもしれない

主人と世話役…
そんな事は許されないのに

だ、だって…





!

ほらすぐに

!!
いいえ!
いいえ...!!
貴方のお傍にいる事が
俺の至福です!!



え?
お酒なんて
飲まれましたか...?

ああ...
少し酔ったのかも
しれないね

や、も、
今日の
ルシフェル様なんか
変です



口をついて出て
しまう

あっ

そんな風に思っ
てくれていたんだね
サンダルフォン...
嬉しいよ...



君に酔ったのかも

なんて事を
言い出すんだ
この御方は——!!





一緒にとは
仰られたが

ど、どうして
こんな状況に!!



っ…俺はこんなに
ドキドキしてるのに

ルシフェル様は
涼しげな顔して
眠ってしまわれた…



…頭では駄目だと
分かっているけど

心では嬉しいと思ってしまう



でも…こうやって
ルシフェル様と
一緒に眠るの

何年ぶりだろう



ルシフェル様…

今日のルシフェル様は
本当に変だった

いつもより
俺に触れてきて…

眼鏡の奥の瞳が
いつもより熱っぽかった
ような気がする

そんな事されたら…
俺だって変に
なってしまう

少しだけ…
少しだけなら
俺からも

貴方に触れても
許される
だろうか…?

好きです、大好きです
ルシフェル様…





つ、ルシフェルさ——

あっ!

んんん!!

んんん!!

んんん!!



んんん!!

口の中に
舌がっ...

やっ...



ルシ、
フェル様っ...
な、なんで
キスなんてっ...

...サンダルフォン...



ルシフェル様の...

熱い...

んんん!!

はっ

んんん!!

はっ

はっ



私はもう
耐えられない



…私はいつまで

君と主人世話役の
関係でいればいい？

いつまでその役割に
縛られていればいい…

ルシフェル様……？



それは
……の意味で——

ひゃっ!?

っ!

はぁ

びびり





ああ…本当は

胸が張り裂けそうなくらい嬉しいんだ



息遣い…

全てが俺に向いていて

初めてなのに
全身で
感じてしまう

でも



貴方の熱い視線

手のひら

貴方に
触ってもらえて…
すごく、すごく嬉しい





んあ

だめです

俺はっ...

ああ!

やあつ...
こんなのつ...



俺は
貴方の恋人には
なれない



...泣かないでくれ
サンドルフオン...



うっ...



数日後
大学構内カフェ



私は、君が好きなんだ

ルシフェル様…

あ、あの俺…っ



誰にも
渡したくない…

世話役ではなく
私の恋人になって
ほしい



…サンダルフォン…

ルシフェル様が
俺を：

こんなに

こんなに
嬉しいのに

そんな俺が

っ…でも

俺は貴方の
世話役ですっ…!!

どうして俺は
世話役なんだろう…!!

貴方の恋人になんて
相応しくない!

っ…!!

待て
サンダルフォン!

そんなこと誰が決めた!

私には君しかいない!

っ!!



私のことは
好きじゃないのかい？

君は…

え？

君は
君はどうなんだ

君は



かあ、

っ…!!



サンダルフォン…!!

…そんなの
答えられる訳ない
じゃないですか…

おーん…

はー…



だって
俺は

生まれた時から
貴方の世話役として
生きてきた

だから
この恋心は

一生隠して
生きていこうと
決めていた



あれから数日
貴方に
会えていない

なのに
貴方に触れられた
熱が消えない...

ルシフェル様...

はあ...



大きい溜息だな
サンドルフオン

...



ミカエル！

それにガブリエルも

はあい
サンちゃん

どうした？

今日はルシフェル様と
ご一緒じゃないのか

いいや
君たちには関係な…



何かあったのか？

我らで良ければ
聞いてやろうか

そうね

サンちゃんは私たちの
大事な末弟みたいな
ものだし…

元気がないのは
気になってしまっわ

この2人には
本当に隠し事が
出来ないな…

……
その…

かくかくしかじか。
※詳細は省いた

…サンダルフォン

一つ質問なのだが

…貴様はあの頃のこと
は覚えていないのか？

…あの頃？

あら…

これは
ルシフェル様も
苦労される
わけだな…

??

…それはそうと
お前はルシフェル様の恋人に
なりたくないんじゃないのか？

フウッ!!

…そ、
それは…

でも、俺なんて…

あの御方に
相応しくない





そう？

私達にはすっかり
サンちゃんは
ルシフェル様の
お嫁さんに見えるわ

他生徒に聞いても
同じ返事を
するだろうな

なっ…
それはどういう…

あら、サンちゃんは
知らない？

もうすっかり
大学でも
有名なのよ

貴方とルシフェル様は
ただならぬ関係だって

は!?



俺はただ
毎日ルシフェル様の
ご自宅で家事をしたり
一緒に珈琲を飲んだり
しているだけだ

あと…夜遅く
帰ろうとすると
車で家まで送ろうと
するから

それはやめて欲しいと
言ったら泊まればいと
仰られたり…



あの研究室には
二人だけの世界が
広がってるとか

学外でも
密かに逢瀬を
重ねているのだとか
それはもう

な、なんだそれは…



全くあの御方は
たまにわがままに
なられる…

…惚気かしら

それを
世間一般では
嫁と言う

ヾ

でもそんな大好きな
ルシフェル様が
自分を好きだと
仰ったんでしよう？

素直に受け止めれば
いいではないか

うっ…

それはその…

でもいいのか？

俺がああ御方の…
その、恋人だなんて…

ルシフェル様は
その方が喜ぶだろうな

ええ
貴方もでしょう？

だ、だが…

あの御方は由緒ある
名家の

主人と世話役
だろう？

もう聞き飽きた

…というか
サンダルフォン



貴様はあの御方が出した
結論が間違っているか？
言いたいのか？

は!?

そんなわけ……!!

ならば答えは
決まったな

うぐっ……

ガタ
ガタ



あの御方は貴様の
努力家な所も
愛おしいと
仰っていたからな

カクン
そ、そうか……



…自信がないなら
あの御方が貴様を
選んだ『結果』に
相応しい人物に
なれるよう
努力すればいい

努力……



ガタガタ
ガタガタ
って仰って……!?

あ、あー……
すまない

実は私達
ルシフェル様からも
相談受けて……
貴方とのこと



俺の事を…

あの御方が
他人に相談するまで…



ストンッ…

そう、だったのか…

そ…



早くいつもの
2人を見せてくれ

ええ!
頑張ってサンちゃん!

ああ



△ん…



△ん



頑張ってみる

…ありがとう



あれ
ルシフェル教授は？

ん？
あれは…

今から
ルシフェル様の講義…

終わったら
すぐにでも
研究室に押しかけて

ガラガラ



あー急な話だが
ルシフェルセンセは
休みだ

体調不良だそうで
珍しいねえ

…え？



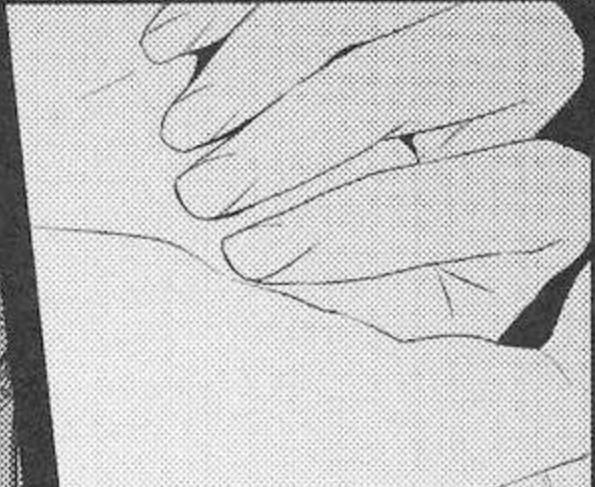
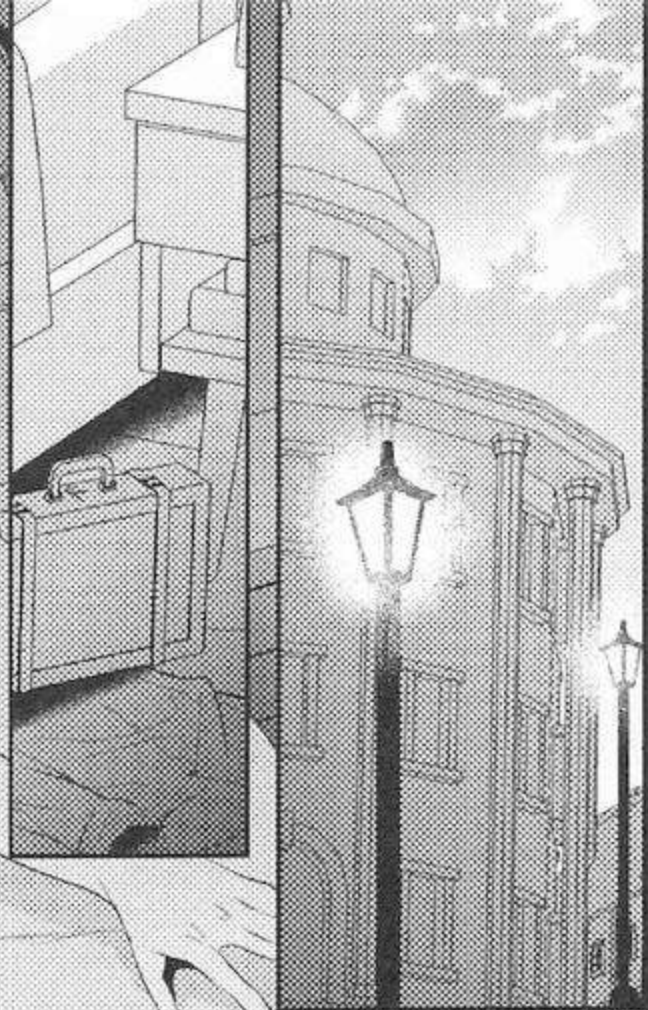
あのルシフェル様が
講義を…

休み!?

あつ
どうしたの
サンちゃん!

かほ

かほ



君が居ないだけで

こんなにも世界が
色褪せて霞んで見える

…サンダルフォン

…君が恋しいよ



ルシフェル様が
体調不良なんて…

タッ

タッ

ニん

タッ



あの御方は
ご自身の体には
無頓着なんだ

もし倒れていたら
どうしよう…!!

はっ

はっ

キキキ



…え?

ドアが
開いて

カキキ

!

ルシフェル様…っ!



サンダルフォン…!!

!



よかった…
お元気そうだ…

サンダルフォン…
どうして此処に

あつ

お、お出かけ
でしたか!?

あの、その…
出直します…!

すみませ…

わっ



君に会いに
行こうとしていた

え?

…私は君がいないと
駄目なんだ



行かないでくれ

サンダルフォン

もう…
君と離れるのは
嫌だ

っ!

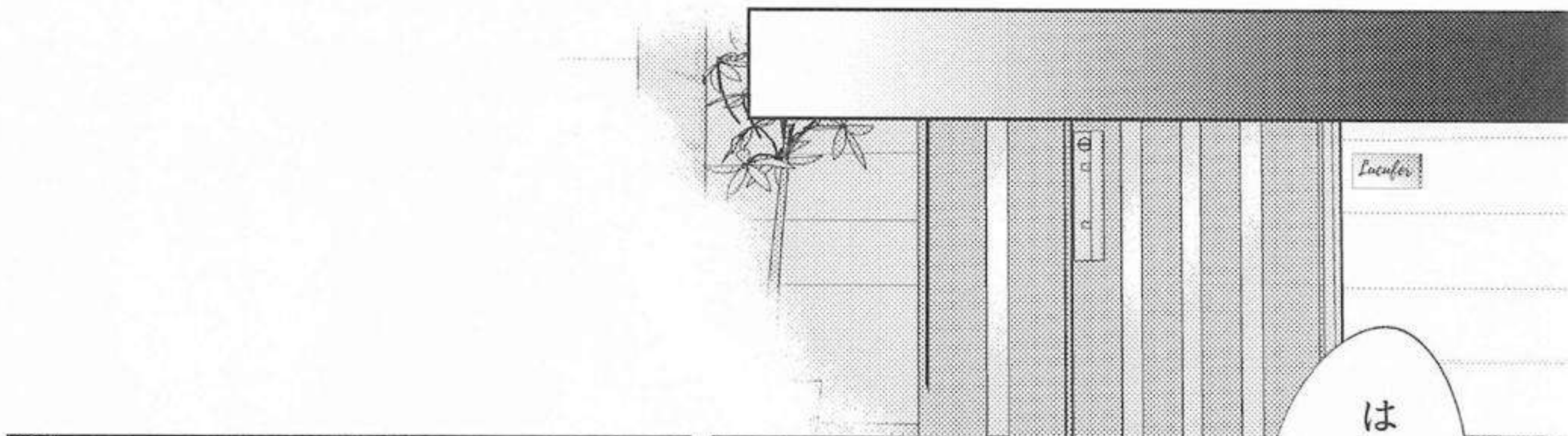
ルシフェル
様…



……うんおいで

!

……あの
お家に
上がっても
良いですか……?



はい、珈琲を



そ、それでその
ルシフェル様……

……

あ、ありがとう
ございます



無理に抱いて
すまなかった

あ…そんな事
気にされて…

君と恋人に
なれてからと
思っていたのに…

急いで先に
手が出てしまう
なんて、私は…

そんな
落ち込まないで
くださいっ

俺は気にして
ないですし
それにっ…

だが君は
泣いていた
それに嫌がって
いただろう？

あれはただの
建前でっ…!!

…建前？



俺は貴方に抱かれて…

本当にとても…

とても
嬉しかったんです



でも俺は貴方の恋人に
なれないって
思ったら…

…悲しく
なってしまった



主人と世話役だから
ダメだと

ずっと自分に
言い聞かせてきた、けど

でも俺っ…

ずっと…貴方のこと…!





ルシフェル様…っ



…もうずっと
生まれる前から
私は

サンダルフォン…
君が恋愛対象として
好きなんだ



あの日…
君に嫌われた…
と思ったら

大学に行く気も
失せてしまって…

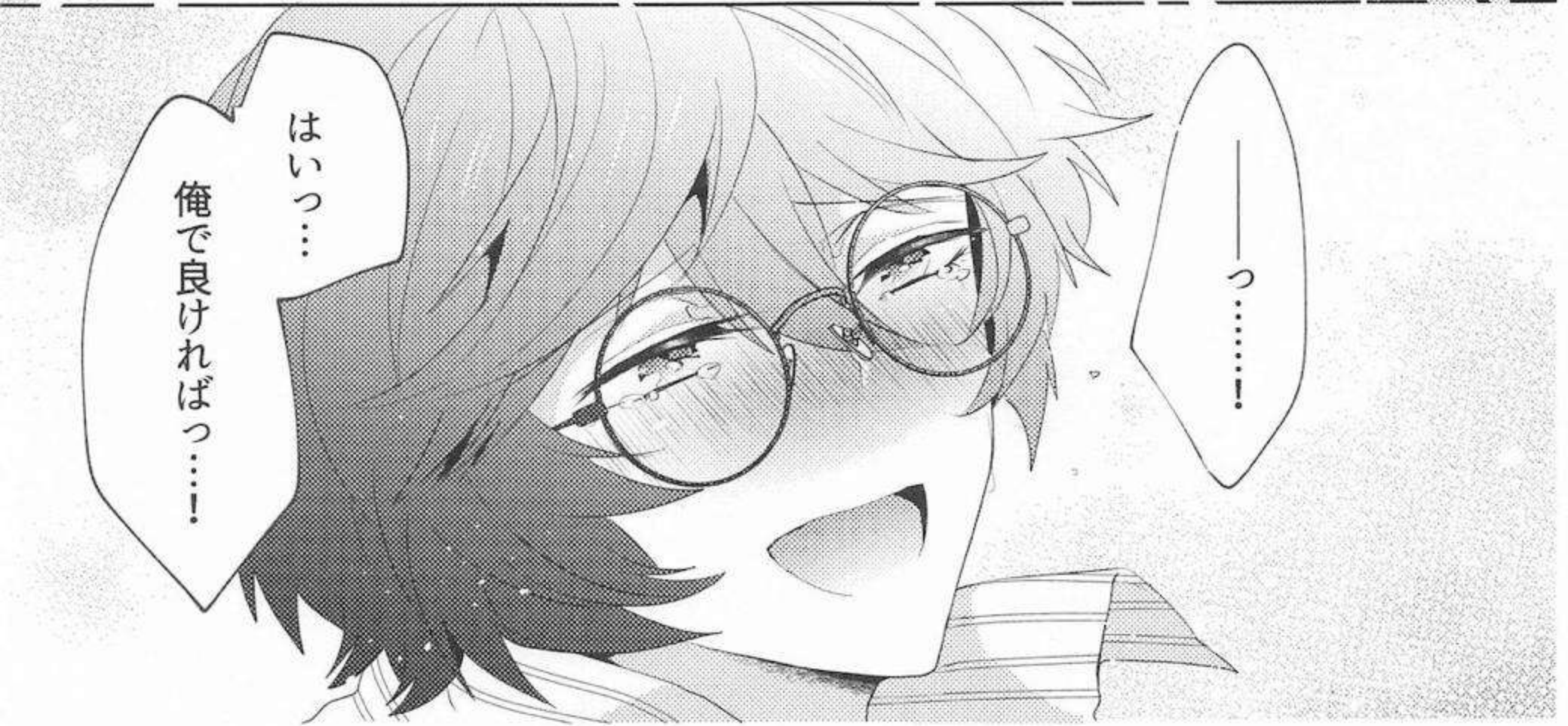
生きる気力すら
失われてしまった



愛しているよ
サンダルフォン…

主人と世話役
なんて役割
もう壊してしまおう

私の恋人になってくれ



—っ……!!

はいっ…

俺で良ければっ…!!



君が、いい

君じゃないと
ダメなんだ

ザッ…

!

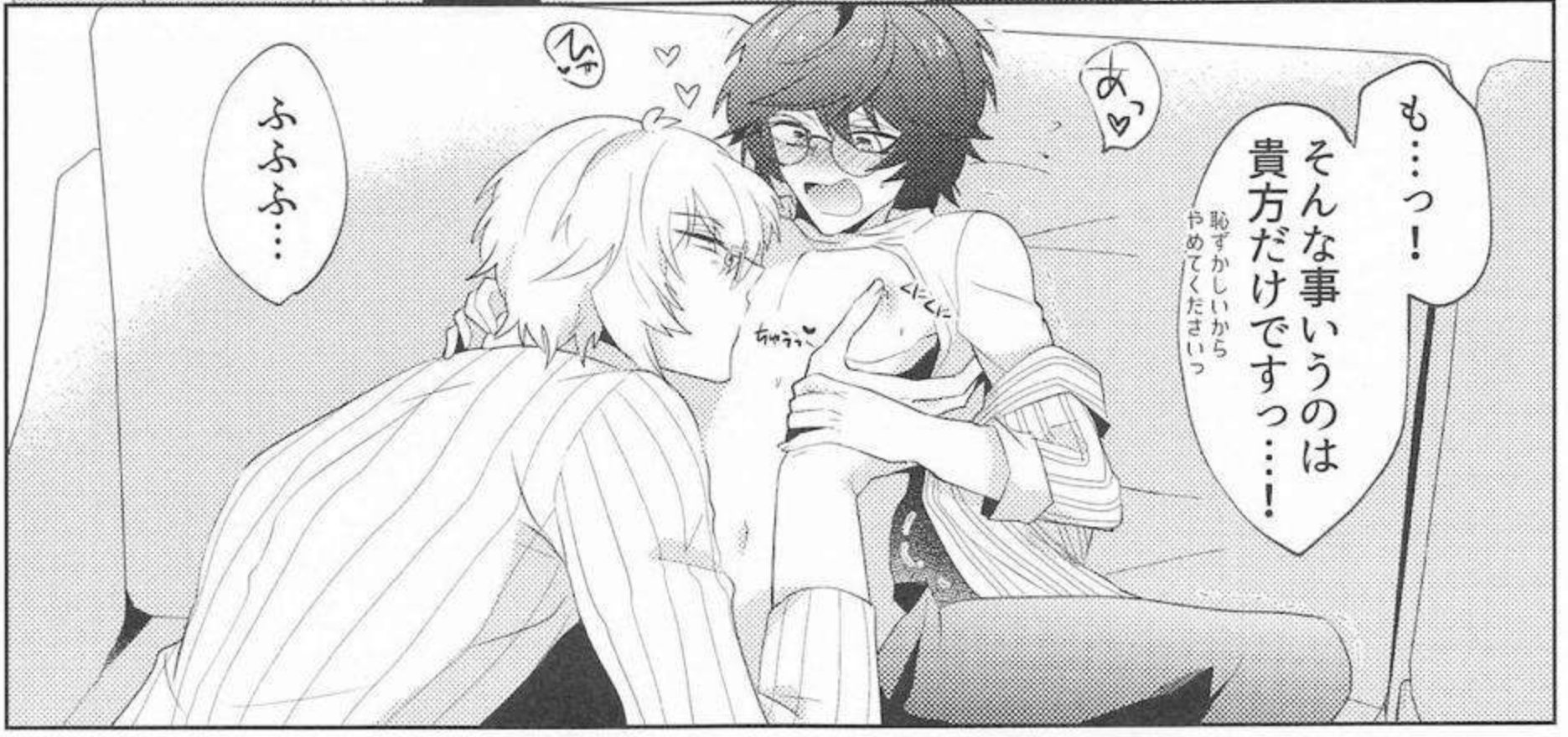
ルシフェル様っ…
大好きです…





私にとっては
君が世界で1番
綺麗だよ

そして世界で1番…
愛らしい



も…っ！
そんな事いうのは
貴方だけですっ…！
恥ずかしいから
やめてくださいっ

ふふふ…



…着てくれて
いたんだね

このシャツ

だ、
だってその…
ルシフェル様がせっかく
俺にくれたものだから

貴方を少しでも
近くに感じたくて…







あぁっ！

そんな触っちゃつ

だめっ

ルシフェル様っ…

ほら、聞こえるかい？

濡れて水音が立ってる



や、恥ずかしいっ

ですっ…

あぁんっ！



ああ…
本当に君は可愛い

やつ…
可愛くなんてっ…

んんっ

可愛い

私が言うのだから
間違いない

ん



ほら…
もっと溢れてきたね

くにく

しん…

あ

やあ

だめっ

駄目じゃ
なさそうだよ…

こんなに愛らしく
反応している

ひゃっ…



だめ、です

わかんなくなるっ
からっ…!!

分からない？



前と
違うからっ…

いっぱい
きもちよくて

ふわふわしてきて

るしふるささも
何も分からなくなっ…

こわいです



…大丈夫だ

るしふえるさま？



私は君を離さない

私はちゃんとここに居る…

だからそのまま気持ちよさに委ねても大丈夫だよ

サンダルフォン



落ち着いたか？

はい…

ルシフェル様…っ







だからあの夜も
貴方の優しく
暖かい手に

もっと触れて
欲しいって
思ってたんです

…それは今も
思ってくれて
いるかい？

ええ、もちろん



もっと、もっと
俺は貴方の恋人だって
実感させて

…うん
もちろんだ
サンダルフォン



ルシフェル様っ…？

ずっとソファだと
体が痛いだろう？





あ…

ルシフェル様の
ベッド…

レタッ



此处で

君とゆっくり
愛を確かめたい

はい…
ルシフェル様…

ちゅっ

ちゅっ



サンダルフォン

このまま脚を
抱えててくれるかい

は、はい…

あ…
ルシフェル様の
指が

ドキ
ドキ
フゥ





好きだ

サンダルフォン…

ううっ
恥ずかし
すぎる…！



そんな

っ！！

え、あ
ああっ♡



目を合わせて
言われたら…っ

っ…！





おや、これは…

たくさん出たね

や、だ
恥ずかしいっ…

こんな、出るとか

ん

ん

あ、あ

ん



こら

ちゃんと私を見て

やですっ…

恥ずかしすぎます
こんなのっ

サンダルフォン

うう…っ



今ので大分あそこも
蕩けたようだし…

可愛い君も
見られたし

悪いことでは
ないよ

うーっ…



…サンダルフォン

私ももう
我慢出来そうにない

っ！

きんっ…

こんなに

君の可愛らしい様を
見ていたらすっかりだ



…もう君の中に入りたい

いい、だろうか



っ…はい

俺の中…
貴方で埋めつくして…？

きんっ…





そうか

歓喜で胸が
打ち震えるとは
こういう事を言うのか

貴方と
ひとつになって

愛を確かめ合う
行為をして

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



ああ……

また、泣きそうだ

サンダルフォン……？
また涙が……

痛かったか？

いいえ……

えっと、その……
上手く言えないん
ですけど



俺、貴方と
こうしてるのが
夢みたいで

嬉しくて……
胸がきゅゅとして

……夢ではないよ

んっ

あゝ

あゝ

あゝ



ああ…
君の望むままに

して欲しっ…
貴方ので
もっと突いてっ…!!



ん?
此処が好きなのかい?

あっ♡
あっ♡
ルシフェルさまっ
すき♡



けどうっ
あっ♡

ちがっ…く
ないですけど
あっ…♡
ああっ…!!



貴方が好きです…!

!

やっと

やっと貴方に
言えたんだ



すき、が

あふれすぎて

もっと伝えたい

俺の気持ち

あなたに、もっと

つたえたくて



すき、すきっ…!

るしふえる
さまあつ…!

ツ!!
サンダルフォンツ…!!

ひく

ひく



君以外
私の隣は
考えられない

あゝ
さ
るしふえ、
さま

サンダルフォン…
君が好きだ

ああっ

おっ

おっ

おっ

おっ



ずっとずっと
昔から

私は君だけが
欲しかった

永遠に
君と一緒に
いたい

生涯を…
共にしたい

おっ

おっ

おっ



好きだ…
君が好きだ

好きだ
好きだよ
サンダルフォン

おっ

おっ



おっ

おっ



ああ：
ルシフェル様

本当は

本当はずっと
欲しかった言葉

今なら素直に
受け止められる

眩暈がしそうな
熱い言葉



俺も、好き
好きです

貴方が好き...



るしふえるさまっ
すきっ

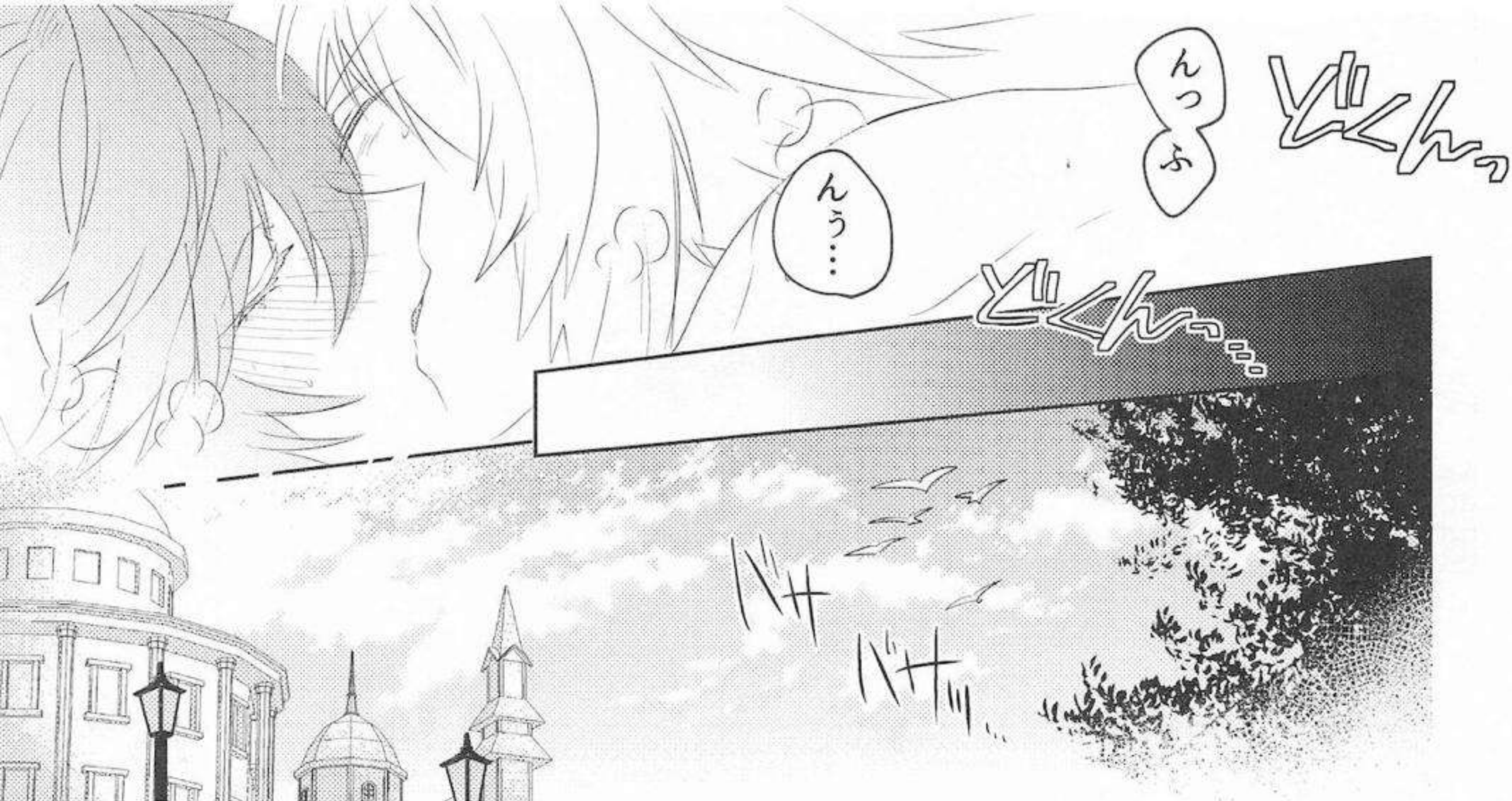
だいすきっ



サンダルフォンツ：
好きだ
私も君が
好きだよ

おれも、すきっ...

あなたが
大好き...!





好きだよ
サンダルフォン

—ふえっ!!

もう一度言わないと
夢じゃないかって
思われそうだからね

ドキ



あ、あんなに
言ってくれださったん
ですからっ…

俺だつて
さすがに…

本当に？

う、ちよつと
自信なかった
ですけど



…君は
言ってくれ
ないのかい？

!

…好きです

ルシフェル様が大好きです

…うん

ちゅっ



此処に住まないか

...サンダルフォン

え？



同棲しよう

主人と世話役ではなく...
恋人同士として
一緒に暮らしたい

もう...君と離れるのが
嫌なんだ





ああ…
末永く共に
暮らして欲しい

……ほんとに？



お傍に
いさせてください…

末永く

…ええ
ええ！



ルシフェル様

後日



この珈琲とても
美味しいんですよ

そうなのかい？

ルシフェル様の
ぶんもあるので
よかったら

すっ！

ああ…
確かに美味しいね

家に帰ったら
再現してみようか

も、もう！
貴方の分もあるのにつ

それは
楽しみですけどっ

ふふ

君と間接キス
したかっただけだよ

な、何言ってるんですか
もー！

あの二人
前より距離が
近くなったな

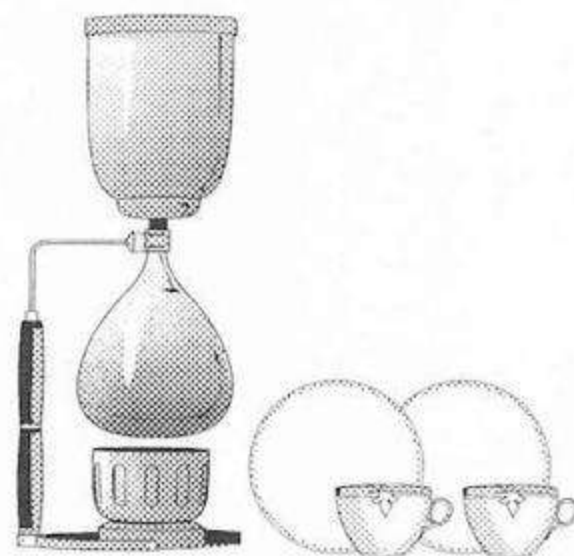
後で
聞かなきゃね♪



{LOVING}² LOVING YOU!!

好き好き言い合ってえっちするルシサンが
描きたかったなのでこのタイトルになりました

Imprint



もし宜しければ

ほめて箱



マシュマロ



フキトー/響
growupiichikin@gmail.com

pixiv:2947357

Twitter:notocco

printing:株式会社プロス

2020/11/29

禁止事項: 未成年者の閲覧・無断転載
フリマ、ネットオークション等への出品

[LOVING]²
LOVING
YOU!!!

GRANBLUE FANTASY: unofficial fanbook CB
ELCIFER* SANDALPHON
FOR ADULT ONLY
presented by fukinoteo

